

Pacificchem 2015 に参加して

関連基礎科学系 博士課程3年 永田利明(真船研究室)

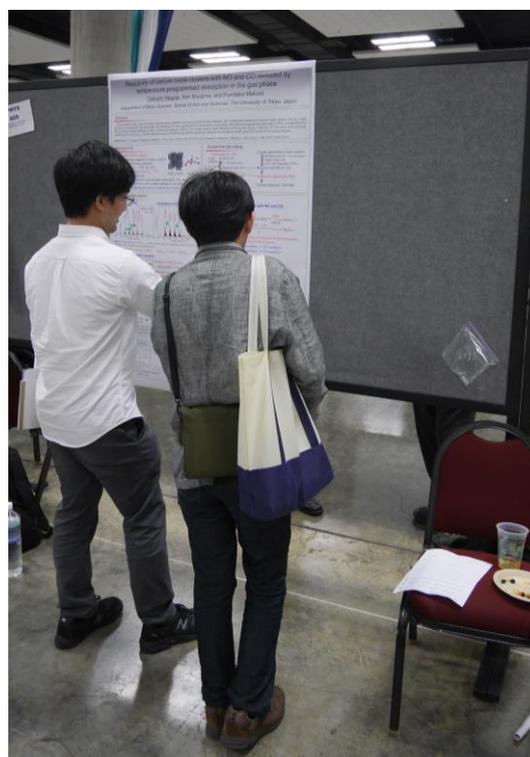
私は「博士課程学生のための国際研究集会渡航助成」の支援を受け、2015年12月にアメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市で開催された The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015 (Pacificchem 2015)に参加しました。これは環太平洋諸国の化学会が合同で開催する化学分野の国際会議で、1984年から約5年ごとに開催され、今回は第7回となります。

私は“Reactivity of cerium oxide clusters with NO and CO revealed by temperature-programmed desorption in the gas phase”という題目でポスター発表をしました。今回の発表内容は投稿済み論文2報に関連したもので、より進んだ議論を試みました。海外の方と直接研究内容のやり取りをする機会は貴重で、よい経験ができたと思います。私にとって、海外で開催される学会に参加するのは今回が初めてでした。また、本国際会議は化学全般という広い範囲の分野を対象としていて、特定分野に特化した学会とは違った層の研究者と交流ができたと感じています。

ハワイを訪れるのは今回が初めてだったのですが、12月なのに日本の夏同然に暑く、気候の違いを身に染みて感じました。今回は残念ながら海に入る機会が無かったのですが、ワイキキのビーチの風景はととても綺麗で感動的でした。ワイキキの中心部付近は日本人や日本語が多く、やや異国情緒に欠けるようにも思いましたが、少し中心部を離れるとアメリカっぽさのようなものを感じました。ある程度観光客が多いこともあり、初めての海外の学会として訪れるには比較的なじみやすい場所だったのではないかと思います。今回の経験を今後の研究活動に活かしていきたいと思います。



ホノルルの街角



ポスター発表の様子(左が私で右が来訪者)